

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	兒玉朋子
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	助教
在籍年	1 年

教育の責任

獣医学科の専任教員として主に獣医学科の 2 年次の獣医薬理学実習、1 年次の生命科学実習、獣医保健看護学科の 2 年次の動物薬理学実習を担当している。授業は担っておらず、実習の補助を行っている。

教育の理念

薬理学を通して論理的思考能力を付けてほしい。

薬理学は獣医学の基礎となる科目であるため、作用機序や併用時の注意などの薬理学の基礎的な内容をしっかり意識して、知識を扱えるようになってほしい。

グループワークを通して自分の意見を言語化して相手に伝えられるようになってほしい。

獣医は臨床業務でも公務員であってもチームで協力して仕事をすることが多いため、実習を通して協調性を育んでほしい。

教育の方法・方針

薬理学実習の説明は向田先生が行っており、私の役割は実習中の質問対応である。

質問された際には、漠然と分からないと言われることが多いため、まず何処から分からないのかを学生自身で言語化できるように、こちらから質問をしつつ促すようにしている。

実習最後にはディスカッションの時間があるため、一人が実習内容を説明するのではなく、複数人に答えてもらうようにしている。

実習中はグループワークであるため、上手く班に溶け込めていなそうな学生には声をかけて、班全員でなるべく動くように誘導している。

実習はなるべく学生を褒めて、実習に興味を持ってもらい、積極的に参加できるように努めている。

教育の成果

獣医薬理学実習の授業アンケートでは、教員の意欲を感じられたが 11/12 人であり、感じられなかったと回答する学生は 0 人だった。

また授業に満足したが 11/12 人であり、不満と回答した学生は 0 人だった。

加えて、実習の目標を達成できたと回答した学生が 8 割を占めていた。

獣医保健看護学科の動物薬理学実習でも不満と回答する学生が 0 人であり、同様の結果を得られた。

獣医・獣医保健看護学科ともに満足度の高い実習を行うことができ、学生自身が科目の目標を達成できたと評価しているため、科目の到達目標も達成できていると考えられる。

今後の目標

薬理学が面白いと思ってもらえるように実習中のコミュニケーションを積極的に行っていきたい。

理解しやすいように工夫してほしいと回答している学生がいたため、かみ砕いた説明が必要な学生が質問しやすいように努めたい。

今年の実習では実習中の作業や実習最終日の発表スライドの作成を班員全員で行えた班が少ない印象だったため、班員全員で協力して実習を行えるような取り組みをしていきたい。

根拠資料

2024 年度春学期授業アンケート